

平成27年度
一般会計
予算
(主な質疑)

総質疑数 277 件
・本会議 136 件
・委員会 141 件

まちづくり・くらし

職員研修
**スキルアップの
機会は**

問 職員研修と、さまざま
なスキルアップに向け
た機会の提供は。

答 職員を他の国ひとつ
づくり広域連合に派遣
して、若手・中堅・管理
職等の年代や役職に応
じた研修を行なっています。また、府内におい
ては、講師を招いて各種
の研修¹や、養成講座
を実施しています。



子どもたちが快適に過ごしやすく（大河保育園）

改善は
国保人間ドック委託料

問 毎年、すぐにいっぱいになってしまいます。定員

答 每年、暑い時期に行なっていました。町民からの要望もあり、がん検診月間²である10月にしました。

平成27年度予算



会計名	金額
一般会計	90億9300万0000円
国民健康保険	39億0623万4000円
後期高齢者医療	3億4213万3000円
介護保険	23億5974万5000円
下水道事業	7億1944万6000円
農業集落排水事業	7927万3000円
合計	164億9983万1000円

金額の詳細は「広報おがわ」4月号に掲載されていますので、ご覧ください。



①平成26年度は、メンタルヘルス研修・同和問題研修・女性職員研修など、6件実施しました。

②国・自治体・企業・関係団体等が相互に連携・協力して一体となった受診勧奨事業の展開をする。

**消防団員の確保
優遇制度の導入**

問 現在、新規消防団員の確保は課題である。新聞報道にもあったが、商工会・商店会等と連携して、消防団員に対する優遇・特典等は考えられないか。

答 新聞報道にあった特典を設けている自治体は、全て単独で消防団を有しているところです。当町の場合は、比企広域での対応となっているので、そちらの福利厚生で考えるものだと捉えています。



観光整備

**和紙活用地域振興事業
事業展開か**

問 具体的にはどのような内容を検討しているのか。

答 ユネスコ関連事業として東秩父村と4つの合同事業を進めます。和紙を加工した特典付きウエルカムカードの作成、ハリキングコースや観光スポット・事業所等を入れた案内地図やポスター作成、外国人向けの案内看板設置やQRコードを発行など全て、情報システム機構に委託します。町は、カード申請とカード交付時の窓口での対応や案内等でかかわります。通知・カード作成・発行など全て、情報システム機構に委託します。町は、カード申請とカード交付時の窓口での対応や案内等でかかわります。



議会だより 第75号



子育て・教育

助金の活用も考えられます。文化庁との調整もありますが、見学のための簡易的な環境整備（駐車場の整備や看板の設置等）、和紙とタイアップして、伝統工芸会館での展示や観光資源としての活用も考えています。



施設整備は

問 各保育園のエアコン設置状況は、また老朽化も進んでいる。耐震化は。

答 平成27年度に八和田・大河保育園に設置をすが、全ての保育室にエアコンが入ります。耐震診断が必要な昭和56年以前に建てられた施設は八和田保育園の遊戯室のみで朽化が進んでいます。セントマネジメントや総合振興計画策定の中で議論していきます。



福祉・医療

問 今後の取り組みは

答 国の目標である受診率50%を目指し、集中的なキヤンペーンを行なつていきたいと思いま

す。
問 集団がん検診が、夏から秋に変更になったが。

答 毎年、暑い時期に行なっていました。町民からの要望もあり、がん検診月間²である10月にしました。

答 定員を48人増の240人にしました。しかし予算の枠内でおさめるため助成額³を減らしました。

答 定員を48人増の240人にしました。しかし予算の枠内でおさめるため助成額³を減らしました。



お風呂無料日の廃止

問 福祉センター運営懇話会での意見がどのよう

に反映されたのか。

答 提言を受け、お風呂の無料日⁴の廃止、定期券に次ぐ割引券の発行、回数券の組みかえ等も実施しなければならないと

③町の助成額が2万5000円から2万円に減額となりました。

④毎月第4木曜日が、お風呂の無料開放日になっています。

具体的にどう進める

問 長期的な保存管理計画を立てています。保存管理について、具体的にはどう進めていくのか。

答 下里・青山の板碑★保存管理のための現地調査を行ないます。新たな補

板碑保存

の周知徹底など手抜かりがないように努めています。